

様式（第8条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	平成29年度 益田市人権・同和問題解決推進委員会
開催日時	平成30年3月14日（水）13：30～15：40
開催場所	人権センター 多目的ホール
出席者	<p>○出席者</p> <p>[審議会委員]舟橋委員、増野委員、田中委員、末成委員、斎藤委員、野村委員、廣兼委員、福原委員、渡辺委員、領家委員、加藤委員、齋藤委員</p> <p>[関係課]島田福祉環境部長、石川子育て支援課長、山下一子子育て支援課長補佐、三浦建築課長、福原障がい者福祉課長、田中高齢者福祉課参事</p> <p>[事務局]田中智人権センター館長、石田館長補佐、大野主任、金山囑託</p> <p>○欠席者</p> <p>[審議会委員]吉岡委員、寺戸委員、熊谷委員、椿委員、間水委員</p>
議題	<p>(1) 人権センター事業について</p> <p>(2) 人権・同和問題基本計画＜平成29年度事業計画・実績（見込）＞について</p>
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	0人
審議経過	内容
事務局	<p>○会議の成立</p> <p>・委員17名中、12名の出席により、「益田市人権・同和問題解決推進委員会設置規則」第5条2項に基づき会議が成立していることを報告</p>
各委員	<p>○自己紹介</p> <p>・各委員からそれぞれ簡単に自己紹介</p>
委員長	<p>○委員長・副委員長選出</p> <p>・各委員からの立候補及び推薦はなく、事務局から、委員長に舟橋委員、副委員長に領家委員を提案し、満場一致で決定</p>

議事について (1)人権センター事業 (資料1)	
委員長	議事に移りたいと思います。まず人権センター事業について事務局からお願いします。
事務局	資料1について、平成29年度 人権センター事業実績〈見込み〉について大まかに説明 (相談件数等)・・・。〈人権センター主催の相談〉①巡回相談 43件、②生活総合相談 65件〈他機関との連携による相談事業の実績〉①弁護士による無料法律相談 47件、②石見法律相談センター無料法律相談 75件、③司法書士・行政書士無料法律相談 20件、④心配ごと相談 5件、⑤行政相談 12件、⑥在住外国人相談 実績なし 等々。
委員	人権問題について、意見を言い合えるような雰囲気私達、人権・同和問題解決推進委員は求めていかなければならないと思います。それには小さい頃から人権を守るという事に慣れ親しんでいく事が必要だと思います。
委員長	多くの人や、子供達が小さい時から人権に接する場が必要ではないかというご意見をいただきました。
委員	益田市、浜田市二つの学校で人権課題の話をさせてもらっていますが、年々高校3年生の段階で、ハンセン病のことを初めて聞いたというアンケートが沢山返ってきます。6～7年前それよりもっと前はハンセン病に対する色々な取り組みがあったが、5～6年前からそういう機会が少なくなってきた。そういった面から、小中高という若い世代からしっかりと心通う学習をしていかなければいけないと思う。
委員	学校の方も人権に関する教育を決して軽視しているわけではなく、色々な課題がいっぱい入ってきている中でその対応もありながら、人権に関するところをどの学校も基本に置いています。
委員	県の方でも平成28年度に人権問題に関する意識調査を実施し、その分析を今やっているところですが、「どういったことで同和問題を知りましたか。」という質問があり、この質問を全体的に見たとき、20代、30代といった若い層で5年前に比べ、学校で聞いたという割合が減り、同和問題のことを知らないという割合が増えています。若い世代の同和問題に対する関心や学ぶ機会の定着などが大事だと思います。
委員長	解決というのは中々難しいですが、やはり何らかの啓発を考えていく必要があると思います。

委員	推進者で4年間勉強をしましたが、学校で同和教育研修を受けたのが何だったのかというくらい凄く勉強になりました。推進者は色々な勉強の機会がありますが、推進者とそうでない人の人権に関する取り組みや意識は結構開いているので、私たちの課題として、推進者がいない学校にも推進者がやっていることを広め、同じような取り組みができるようにすべきだと考えています。
委員	中学校の人権作文の審査員をずっとやってきましたが、その中でも素晴らし作品は、直接話を聞いたり、体験して書いたものが多いです。直接聞いたり、体験したものは子供の心を凄く動かすものがある、こういったことは大事だなと感じました。
委員	益田市地区人同研について記載されているのがすべてではなく、各地区の人権問題だったり同和問題だったりの研修などが最近また減ってきている事実があるのでこういったことも課題であると思います。
議事について (2)平成29年度事業計画及び実績見込みについて(資料2)	
委員長	まず1の同和問題について何かご質問等ございましたらお願いします。
副委員長	同和問題について、学校教育の取り組みの事業実績が説明不足。啓発・広報活動の推進について、どんなことを研修したのか内容が分からない。
委員長	事務局として、記入内容について今後の改善をお願いします。
委員	項目の表現について、「女性」や「子供」と表記するべきではないと思う。
委員	例えば「女性の人権に関する課題」などはどうでしょうか。
委員	石西地域では間違っていなければ、1989年から「いのち・愛・人権」展が開催されています。「いのち・愛・人権」展では、子供の権利条約について等が展示されています。
委員長	少しでもいい気持ちになる人権の取り組みを明日からできるといいと思います。
委員長	子どもに関する課題に進みたいと思います。ご質問ご意見等あればお願いします。

委員	<p>幼児期から人権教育は始まっていると思います。人権教育の多くは小学校から始まるのですが、もっと大事なのは幼児期からだと思います、小さい頃から人権や同和教育をするべきだと思います。</p>
委員	<p>今話を聞いて、家庭内の保護者の接し方なども大切だと思いました。保育園の中での教育も大切だと思いますが、いきなり人権についての教育等は難しいと思うので、自分の事や相手の事を大切にする気持ち等を教えてあげることが大事だと思います。</p>
副委員長	<p>体罰根絶に向けた取組について、アンケート Q・U がどういったものか分かりません。</p>
委員	<p>Q・U アンケートというのは学級の実態とか子供の学校での生活の心の状態を数値化しグラフにして表したものです。年2回くらいで行っています。</p>
副委員長	<p>4、高齢者の③の生きがい活動への支援について、スポーツ芸能大会を西部、東部、中部で実施をしているとありますが、美都、匹見が入っていないと感じました。それから④の介護予防事業の推進のところで、A型サービス、B型サービスとありますが、このところが分からないので、分かりやすく教えてもらいたいです。</p>
担当課	<p>益田市の老人クラブの方から西部、東部、中部とご報告をいただいたので、ご報告いただいたものをそのまま挙げています。美都、匹見についてはまた改めましてここに載せていきたいと思っています。A型サービス、B型サービスにつきましてはまた分かりやすいように変えていきたいと思っています。要支援1、2の方のサービスの分類がA型、B型という形になっていたものをそのまま引用しました。</p>
副委員長	<p>⑤の認知症への理解と支援体制の整備について、認知症高齢者家族やすらぎ支援サービスの利用実績がないということですが、あまり市民の方に周知がなされていないような気がするのでその辺をちゃんとできればいいなと思います。</p>
担当課	<p>やすらぎ支援サービス実績に関しましては最近利用していただくことが少なく、29年度につきましては実績がありません。28年度に1件ほど利用がありました。</p>
委員長	<p>次は障がいのある人という課題で質問意見等あればお願いします。</p>
委員	<p>障がいのある人について資料の内容が凄く漠然としていて感じました。それからバリアフリー社会の実現につい</p>

	て資料を見ますと、自立支援協議会に丸投げのような感じがします。色々疑問を感じるところがあるので、もう少しくくりを幅広くしていただければと思います。
担当課	貴重なご意見ありがとうございます。やはり心のバリアを取り除くというのが一番難しいところで、大事なところだとは思っています。計画を作るにあたりましては周知、啓発が必要だと言われておりまして、その辺を中心に進めていきたいと思っています。
委員	6、外国人の①のところの益田市在日外国人学校教育基本方針の存在について市民の方に周知してもらえているのか知りたい。それから日本語教室「ともがき」の指導者と人権センターとの情報交換が行われているのか知りたい。それから学校でも地域でも日本語指導を行うことが外国人支援の中心であるように受け止められているがそれでよいのか？母国の文化や言葉を大事にする意識を育てることが異文化交流を促進するのではないかと思う。それから子供の権利条約について周知徹底してほしいと思います。
委員	益田市在日外国人学校教育基本方針というのは初めて知りました。一回読んでみたいなと思いました。
副委員長	6、外国人の②について、人権センターのともがき支援について頑張っていると思うので、これからも支援の在り方についてご検討いただきたいと思います。
委員	7の HIV 感染者とハンセン病回復者等については2001年頃に作られたこの人権センターと解放同盟で作られた「納骨堂が消える日まで」という素晴らしいパンフレットがあります。是非見てください。それからアイヌのことに、 「いのち・愛・人権」展ではアイヌの人々のポスターを貼ったりしています。そうしたことで多文化理解を進めていきたいと思っています。
委員	ネットでリンチ等の批判があったりしてそれがまかり通っている現状があるので、それに対して学校現場でもしっかり指導していただければと思います。
委員	私はあえて差別はあると言います。人間ですから、でも、その差別があるのが当たり前だと思った中でみんなとそれを理解し合う、教育し合う、啓発し合うことが大事だと思います。
委員	今回の会議を機会に人権等について私もしっかり勉強させてもらいたいと思っています。

事務局	それでは他に無ければ会議を終えたいと思います。以上を持ちまして本会を終えたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。
(3) 閉会	